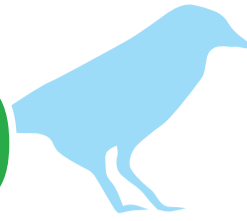




やまと 市議会だより



第315号
令和5年(2023年)1月1日
【編集】
広報委員会
【発行】
大和市議会



迎春 2023

初雪と南天「難を転じて福と成す」 場所：自宅の庭 撮影者：竹本 富雄さん（公募写真から選定）

年頭の御挨拶



議長
中村 一夫



副議長
青木 正始

皆様には、新たな期待と希望を持って、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

我が国で新型コロナウイルス感染症が確認されてから、間もなく3年がたとうとしています。市民の皆様による基本的な感染対策の徹底への御協力により社会経済活動の正常化が進みつつあります。

一方で、ロシアによるウクライナ侵攻と円安により、エネルギーや食料品価格が高騰し、社会不安や厳しい生活状況をもたらしています。本市の実情に応じた生活者支援、事業者支援を展開し、市民の皆様暮らしを守るため、行政と連携して課題解決に向けて尽力してまいります。

市議会では、令和4年12月定例会において、「大和市ハラスメント防止条例」を制定いたしました。この条例の目的は、議員、市長等、職員が身分、職位、

職責にかかわらず、互いに信頼できる良好な職場環境を確立することとしています。市職員の職場環境を改善することで市民サービスの向上に努めてまいります。

また、本市の最重要課題の一つである基地問題では、市民の負担軽減に向けて、基地に起因する諸問題や今後の運用についても、引き続き注視してまいります。

市議会は二元代表制の一翼を担う存在であり、市民の負託を受けて、市政に責任を持つ機関です。その役割を十分に果たすべく、適切な議会運営に努めてまいります所存です。

どうか今年も、本市議会への御支援と御協力をお願い申し上げますとともに、皆様の御健勝と御多幸を祈念しまして、年頭の御挨拶といたします。

令和5年1月

'23年各会派の抱負



自由民主党

日常を取り戻し、 経済のアクセルを！

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

3年もの間、新型コロナウイルス感染症の収束を目指して国を挙げて取り組んでいるところでありますが、まだ先行きは見えません。しかし、昨年から3年ぶりと銘打つイベントが多く開催され、全国的に日常を取り戻しつつあり、明るい兆しも見えてきております。また、ロシアによるウクライナ侵略の影響からの物価高、円安傾向等、国内外の経済に大打撃を与えており、先行きを楽観視できる状況ではありません。国も市も対策に取り組んでいるところですが、当然、この先も本市の

財政に与える影響も不透明だと思えます。

高齢化の進展による社会保障関係経費の増大、そしてコロナ対策、物価高対策など、課題は尽きません。しかし、こども政策にはこれまで以上に力を入れるように、昨年9月議会での我が会派所属議員の一般質問の中で、小児医療費助成制度について、近隣市が所得制限の廃止を予定していることを挙げ、「所得制限廃止に舵を切る時だと判断した」との市長答弁を引き出しました。9月議会終了後には、さらに「子育て王国」として、未来への投資は優先的に行うよう会派として行政側に要望しました。

今年も二元代表制の一翼を担う大和

市議会最大会派として、広く市民の皆様と意見交換をし、神奈川県議会や国会と連携しながら行政側に働きかけ、市政を動かしてまいります。

今年も変わらぬご指導をお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



古木 邦明



福本 隆史



小田 博士



井上 貢



青木 正始



中村 一夫



小倉 隆夫



木村 賢一

※令和4年12月2日付で、自由民主党から青木正始議員、木村賢一議員が退会し、同会派は8名から6名となり、両議員は会派に属さない議員となりました。

公明党

市民の声を政治に反映 施策を推進

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、日頃よりご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年も、コロナ禍による感染防止対策を実施しながら社会経済活動の両立が進められました。

公明党市議団として、原油価格・物価高騰の影響を踏まえ、現場の声を国に届けるための聞き取り調査を実施。行政にも緊急要望を行い、給食費の値上げの抑制の他、中小企業や運輸関係に対する経営支援の給付推進を実現しました。

また、市民の皆様からのご要望によ

りシニア向けの「スマホ講習会」を市内数箇所で実施、市税などアプリで納付の選択肢の拡充、公立保育園で紙おむつを持たずに登園できる「おむつサブスク」の導入、通学路点検による危険箇所の調査要望、また4月から小児医療費助成の所得制限の撤廃(中学生まで)、こもりびと支援条例の制定など市民の皆様からのご要望に取り組み推進することができました。

公明党は、結党以来、子育て支援に一貫して取り組んでまいりました。この度、人口減少・少子高齢化が進む中、「子育て応援トータルプラン」が公明

党において策定され、結婚、妊娠・出産から巣立つまで切れ目ない支援の拡充を目指し、更なる施策を推進してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症対策の強化や総合経済対策、総合的な防災・減災施策の推進、デジタル社会の推進、誰もが安心して暮らせる共生社会の構築へ全力で取り組んでまいります。

今年も公明党市議団は、市民の皆様の声をしっかり受け止め、施策の推進に取り組んでまいります。地域課題も含め、公明党の強みである国県市のネ



河端恵美子



金原 忠博



鳥淵 優



山田己智恵

ットワークで様々な課題に全力で働いてまいります。

今年もどうぞよろしくお願い致します。



吉澤 弘

神奈川ネットワーク運動

持続可能な 社会をめざして

あけましておめでとうございます。

2022年は引き続きコロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻、物価の高騰や気候変動の悪化など、私たちの暮らしに政治が大きな影響を与えました。

2023年は、時代の転換点となる再生の年となるよう、市民の皆様とともに持続可能な社会をめざし神奈川ネットの政策を着実に推進してまいります。

食の安全保障と温暖化対策として、地域の農産物を積極的に食べて応援する等、市民一人ひとりにもできること

は多いと感じます。大和市の緑と農地を守り、環境への負荷が少ない暮らし方やまちづくりを提案してまいります。

若年非就業者やひきこもりの方など、社会とのつながりを失い社会的に孤立した若者の増加は、将来にわたる重大な課題です。制度の狭間で悩み苦しむ人々を支える包括的な支援体制の構築が急がれます。排除や分断を生むことのない社会づくりに努めてまいります。

非接触の推奨やマスクの着用、ICT化など、子どもたちの教育環境はこの

3年間で大きく変容しました。多感な時期を生きる子どもたちがコロナ禍で失ったものは計り知れません。アフターコロナを見据え、子どもたちの健やかな学びを保障し、「生きる力」を育むための環境整備に尽力します。

持続可能な社会を実現していくためには、一人ひとりの尊厳や多様性を尊重し、全ての人が互いに支え合う仕組みが必要です。

神奈川ネットは「地域からつながみらい」という基本政策を掲げています。



布瀬 恵



山崎佐由紀

地域政党として市民とともに福祉政策やまちづくりを提案してまいります。

今後も市民と行政をつなぐパイプ役として誠心誠意努めます。生活のなかに政治があります。市民の力で暮らしやすい社会をつくってまいります。



国兼 久子

明るいみらい大和

謹んで新春をお祝い申し上げます。皆様の日頃からのご支援に心より感謝を込めて、年頭のご挨拶をさせていただきます。

コロナ禍にありながら、年明け早々のロシアによるウクライナ侵攻、資源が乏しい工業立国の日本は、さらにウクライナ戦争の影響を受けざるを得ない状況です。国の財政危機は自治体に多大な影響を及ぼします。

私どもの会派は、行政と緊密に意見交換と連携を行いながら対策を講じて

きました。今後は、より厳しい財政状況の中で、一層の連携をもって乗り越えていかなければなりません。

山積する課題の中で、喫緊の課題を中心に、市民に寄り添い、現場に足を運び、現実的な解決に取り組んでいます。昨年度は、防災、減災、子ども、教育、スポーツ、高齢者福祉、困窮世帯への救済、地域課題の分野において成果を上げることができました。

現場の声が日本を変える。ピンチをチャンスに変えていく。根拠をもとに

明るい未来を目指して 困難な時代を乗り越える

前向きな発想と冷静な判断、あきらめない姿勢で引き続き、積極的な改善提案を行ってまいります。

本年も、子を産み育てやすく、高齢の方々が元気で活躍でき、大和市の企業や事業所が元気になり、街の賑わいがある、市民全体に優しい、心も身体も健康で生きていける大和市を目指してまいります。

大和市の子どもや若者たちの明るい未来のためにも、全力で取り組んでまいりますので、本年も皆さまからのよ



野内 光枝



町田 零二

り一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに新成人の皆様にお祝いを申し上げます、すべての皆様にとって幸多い一年になることを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



古谷田 力

大和正風会

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には日頃より格別の御支援・御協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は一昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、市民の安全・安心に向けて、議会活動を続けてまいりました。

そのため、二代表制の一翼である議会は、行政と一定の緊張感が必要と考え、「是々非々」の姿勢で行政に向き合ってきました。

元々、市長は前市長を多選批判して初当選したにも関わらず、4期16年の長きに渡って市政運営に携わっていることに対する丁寧な説明がなく、前副市長の告発によるパワハラ疑惑など大和市にとって大きなマイナスイメージが付きかねない報道が相次いでまいりました。

強大な権力を持つ市長が、市職員に対し、強権的・独裁的な態度を取っていたならば、市役所が風通しの良い組織と呼べるはずもなく、自由闊達な議

「是々非々」の姿勢で 正しい風を議会から

論を通して市民のためになる施策の展開など出来るはずありません。

もちろん、今までの選挙で有権者の皆様を示した判断は、最大限尊重すべきものであり、今まで進めてきた「健康都市やまと」をテーマとした諸々の政策には素晴らしい点多々あります。

従って問題点は問題点と指摘し、改善を促しつつも、良い点は全力で支え、応援する「是々非々」の姿勢が重要と考えます。決して議会は行政の追認・追従機関になってはなりません。この



佐藤 正紀



安藤 博夫

信念を胸に刻み、残りの議会活動に取り組んでまいり所存です。

結びに皆様の御健勝と御多幸を心より祈念するとともに、本年も御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、新年のあいさつといたします。



赤嶺 太一

日本共産党

明けましておめでとうございます。

繰り返され終息が見えない新型コロナウイルス感染症の波、ロシアによるウクライナ侵略戦争を契機として、燃料や食料だけでなくあらゆる物価の上昇により、市民生活が一層大変となっています。急激な日本の円安等、アベノミクス経済の破綻は明らかで、消費税の減税など国民所得を引き上げる経済政策への転換が求められています。

また安倍元首相殺害事件など旧統一協会の問題は、地方議員も含め関係断

絶が必要です。

日本共産党は新型コロナウイルス感染症対策など市民の生命を守るには、入院し治療を受けられる医療体制の構築と保健所機能の充実が必要であり、市立病院の更なる充実と大和保健所の再建を求めています。

また、厚木基地を拠点に自衛隊と米軍の訓練が繰り返され、欠陥機オスプレイの飛来が市民を脅かしています。さらに厚木基地でも有機フッ素化合物による水質汚染は深刻であり、立ち入

温暖化防止など持続 可能な社会への転換を

り調査など緊急に対策が必要です。

地方自治体は住民の暮らしに最も身近に関わり、市民の生活を応援する役割があります。しかし、現市長によるパワハラ疑惑解明を求めた市議会での審議では、市民への説明は全く無く、逆に議会が実施した市職員幹部へのアンケートにも疑問を呈し、逆質問をするなどの対応に、民主主義の破壊者との新聞記事が掲載されました。

政治の転換が求められています。昨年、党市議団が取り組んだ市民要



堀口 香奈



高久 良美

望アンケートには、生活が苦しくなったとの声や、子育て支援の更なる充実や高齢者などへの移動支援、補聴器購入助成など多くの要望が寄せられました。これらの声を市の施策に反映させ、暮らしやすい大和市のために、市民の皆様と力を合わせ、さらに頑張ります。

虹の会

新年の訪れ、お慶び申し上げます。現在、未曾有の経済危機が世界を覆っています。

ただでさえ日本は人類が初めて経験する超高齢化や25年以上続く不況で市民の暮らしが著しくひっ迫しており、そこに消費増税、コロナ禍、急激な物価高騰が立て続けに起こる前例のない緊急事態の真っ只中です。

経済危機は目に見えない災害であり、戦争です。放置すれば大勢の人が傷つき、命が失われます。実際に令和3年

の死者数は過去最大、出生数は過去最少となり、1年間で実に約60万人もの人口が減少しました。リーマンショックでもその翌年以降、自殺など死亡者数が急増しており、経済危機は命と直結する問題です。

こうした人災とも呼べる事態に政府はあろうことか消費増税や社会保険料の負担増、医療費の窓口負担の増額、道路使用税の導入など、より事態を悪化させる破滅的な政策を次々と進めようとしています。

経済危機対策が急務！ 危機感ある財政運営を

有事に国政が機能しない。こんな時こそ、地方自治体が市民に希望を示さなくてはなりません。

現在、子どもの自殺や虐待、いじめ、不登校が過去最悪の数字です。なにより異常事態から全力で子どもたちを守ること。これが私たち大人の最大の務めです。子どもを見守る教員、保育士などの体制強化、子育て世代への支援を提案します。

地域で訪問活動をする移動もままならないご高齢の方が大勢おり、移動



石田 裕



大波 修二

支援は喫緊の課題です。のりあいのタクシーや送迎サービスへの支援などを総動員して向き合っていくべきです。

市は令和3年度決算で、約55億円も公金を余らせ、約31億円も基金に繰り入れる危機感の全く足りない財政運営を行っています。有事の財政運営を求めています。

大和市議会三二年鑑 2022

第1回定例会 2月24日～3月23日

令和4年度各会計予算をはじめ、令和3年度一般会計補正予算など議案19件、請願2件、陳情6件、議員提出議案3件を審議しました。

第1回臨時会 5月9日

専決処分承認についての報告など2件を審議しました。また、議長、副議長の選挙、各常任委員会委員の選任等を行いました。



引地台中学校分教室

第2回定例会 6月1日～6月27日

大和市おひとりさま支援条例など議案16件、請願2件、陳情11件を審議しました。



健康都市大学 月イチ学園祭



第3回定例会 8月30日～9月27日

令和3年度各会計決算をはじめ、大和市こもりびと支援条例など議案17件、請願3件、陳情1件、議員提出議案1件を審議しました。

第2回臨時会 11月2日

令和4年度一般会計補正予算など2件を審議しました。また、基地対策特別委員会委員の選任等を行いました。詳しい内容は、このページの下段を御覧ください。



前副市長辞職等に関する調査特別委員会

第4回定例会 11月25日～12月21日

本会議初日に前副市長辞職等に関する調査特別委員会の調査報告を承認、大木哲大和市長に対する問責決議(委員会提出議案)を可決したほか、大和市ハラスメント防止条例(委員会提出議案)などの議案を審議しました。

第4回定例会の詳しい内容については、次号のやまと市議会だより(2月1日発行予定)でお知らせしますので、ぜひ御覧ください。

されたもので、全員賛成で承認されました。

補正予算(第6号)は、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、子育て世帯に給付金を支給する経費(6億4960万2千円)を増額し、歳入は国庫支出金と繰越金を計上するものです。本会議において、所管の各常任委員長からの審査報告後、討論を経て、全員賛成で原案のとおり可決されました。

また、山本光宏前議員の辞職に伴い、基地対策特別委員会委員に赤嶺太一議員が選任され、同委員会委員長に古谷田力議員が選出されました。あわせて、広域大和斎場組合議会議員に国兼久子議員、社会福祉審議会委員に町田零二議員が選出されました。

行政視察報告

市議会では、他の自治体で取り組まれている先進事例について調査・研究する行政視察を行っています。令和4年度に3年ぶりに再開した常任委員会の視察は、以下のとおりです。

総務常任委員会(10月12日～14日)

- 大阪府茨木市：「茨木市DX推進に関する宣言」とそれに基づく取組
- 大阪府堺市：堺市総合防災センター
- 愛知県一宮市：就職活動向けVR動画

厚生常任委員会(10月12日～14日)

- 山形県東根市ひがしね：子育て支援
- 山形県上山市かみのやま：かみのやま健康ポイント事業
- 栃木県宇都宮市：産後うつ検査、産後ケア、産後サポート事業

文教市民経済常任委員会(10月25日～27日)

- 兵庫県養父市やぶ：小規模特認校
- 岡山県岡山市：創業・開業支援
- 大阪府泉大津市：給食へのオーガニック食材の導入

環境建設常任委員会(10月26日～28日)

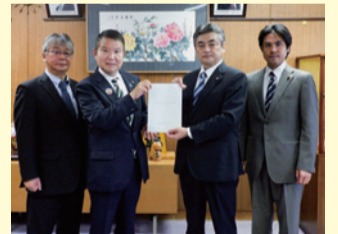
- 兵庫県西宮市：どうぞベンチ寄附金
- 京都府亀岡市：かめおかプラスチックごみゼロ宣言
- 大阪府泉南市せんなん：泉南農業塾

前副市長辞職等に関する調査特別委員会 調査報告書を議長へ提出

11月7日に開催された前副市長辞職等に関する調査特別委員会で、調査結果をまとめた報告書の内容が決定され、11月15日に同委員会の正副委員長が正副議長に調査報告書を提出しました。

同委員会の調査報告は12月定例会の本会議初日に同委員会委員長から報告され、全員賛成で承認されました。

「前副市長辞職等に関する調査特別委員会調査報告書」は、市議会ホームページより、「市議会について」の「前副市長辞職等に関する調査特別委員会について」のページから御覧ください。



調査報告書を議長へ提出

令和4年度第2回臨時会の概要

令和4年11月2日に第2回臨時会が開催されました。今臨時会には令和4年度大和市一般会計補正予算(第5号、第6号)が提出されました。

補正予算(第5号)は、歳出で、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、住民税非課税世帯等に給付金を支給する経費(15億888万1千円)を増額し、歳入は国庫支出金を計上するものです。これは、国による決定を受け、予算を早急に補正する必要から、令和4年10月7日に専決処分され、議会の承認を求める報告議案が提出

総務大臣から感謝状

去る令和4年10月24日に、令和4年度都道府県議会議員及び市区町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式が東京で開催され、総務大臣より本市議会の大波修二議員に感謝状が贈呈されました。

感謝状は、地方議会議員として通算35年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功績があった議員に贈られます。